

あし

ハイキングクラブ



ちんぐるま

第328号

2017年2月9日発行

### 先月の山行

- ☆ 1月15日(日) 日野山 山行報告参照
- ☆ 18日(日) 藤倉山 山行報告参照

### 2月の予定

- ★ 9日(木) 例会
- ☆ 19日(日) 西方、サザエヶ岳 6時半

- ☆ 26日(日) 取立山 6時半

### 3月の予定

- ★ 9日(木) 例会
- ☆ 12日(日)  
CL
- ☆ 26日(日)  
CL

冬季は積雪を考慮して計画を致します。

遭難対策基金1000円年会費6000円  
 会計(伴藤幸枝)までお願い致します。  
 090-9442-7026

### 山行申込み方法

- ・山行申込みの基本は例会時です。  
(都合により例会に出席できないが、山行込みをした場合は、例会当日20時半頃、宮本の携帯090-8260-8108へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

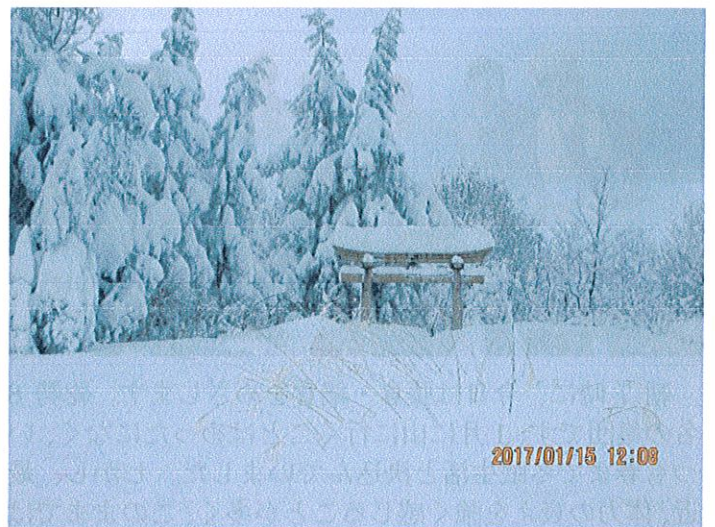
### 山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

日野山798m

日時 2017年1月15日

平地でも風の強い寒い日でした。





【山行報告】

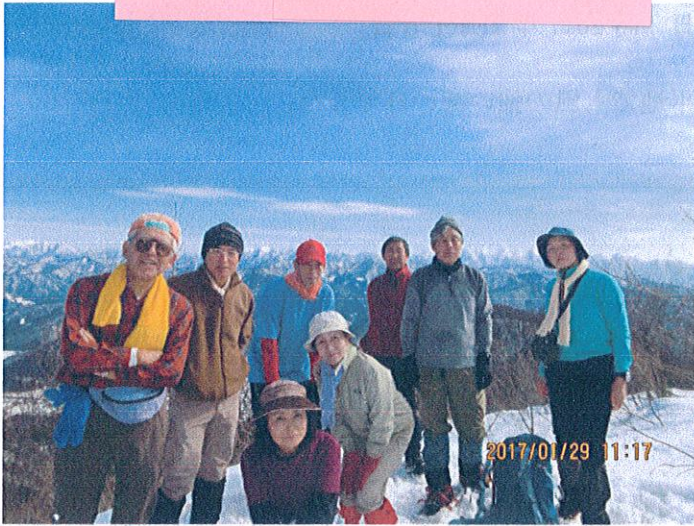
藤倉・鍋倉へ (642m、516m)

報告者 鈴木広江

山行日 2015年9月13日(日) 雨～曇り

集合 6時30分集合

参加者



朝7時に、今日は藤倉・鍋倉をめざします。総勢8名の集団です。1月に山に行くことはめったになく、いつも春まで冬眠生活と決込んでいました。しかし、最近、体力の衰えを強く感じる事が多く、このままではいけないと山行を決心しました。当日になると、寒さのため、やはり止めておけばよかったと、後悔しました。優柔不断さにあきれられるばかりです。

JRで京都に出かける時、必ず見る場所が二か所あります。一つは武生駅近くにある憲法九条を守れの看板、そして二つ目は藤倉山です。下山するところには赤い幕が垂れ下がり、忘れられない場所です。暑い日射しの季節、秋の紅葉、ブナ林の緑、一緒に登った時の語り、必ず何回か登った藤倉山を思い出します。電車の窓から、すぐそこに見える山は珍しいのです。

カンジキでの登山も久しぶりで、以前はいつだったのか記憶もないくらいです。何回転んだことか。長靴でも大丈夫だろうと思っていたら、リーダーから「かんじきないなら来ちゃ駄目よ。」と、ぴしゃり。必死で物置を探しました。年を取った女は悲しいものです。

ただ、雪があるとケガをしないから安心します。雪が摩擦になって滑りを防止したり、スポンジの役目を果たしたり、最後はわざとお尻で滑っていました。道なき道に行く経験は、後になれば、誇らしくもありました。

いつもの如く、伴藤さんの御馳走に感謝しました。めったに食べないぜんざいも、何故か、山では食べられるんですよね。

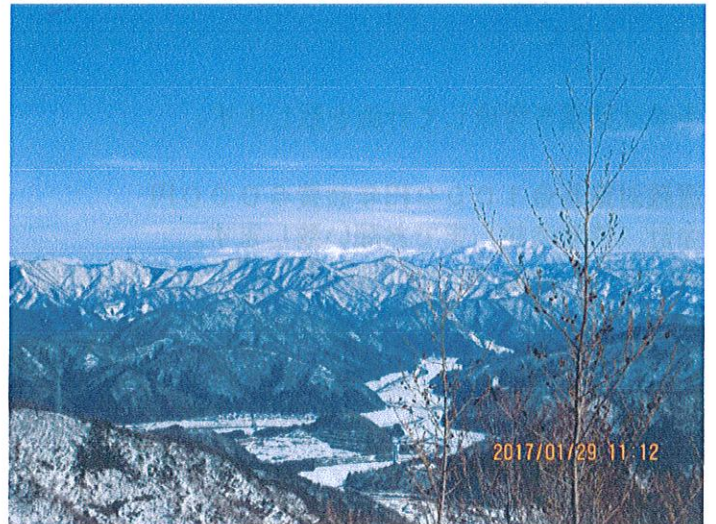
<雑感>

真宗の寺には、必ず七高僧の絵像が飾られています。七高僧とは、七人の高僧です。インド人の龍樹と天親、中国人の曇鸞、道綽、善導、日本人の源信と源空(法然)です。親鸞は、浄土真宗を開くにあたり、七人の教えを元にし、と表明しているのです。実は、『正信偈』の中に、そのことが詳しく書かれています。『正信偈』は親鸞が著した『教行信証』の中のエキスの部分です。最近では少なくなってきましたが、真宗門徒は毎日の朝晩に正信偈を唱えてきました。

筆頭の龍樹は、2世紀にインドに生まれました。八宗の祖と言われ、大乘仏教の基本を築きました。特に有名なのは、一切は空であるとする「空」思想です。

「私たちはもろもろの因縁によって、ただいまの命を生きている。いろいろな因縁によって成り立っているだけの私である。一切は関係性の中にあるのみである。自性(何にもよらず独自に存在)の物は何もない。」

しかし、条件によって成り立っている命と自覚しても、我々は生死に縛られて生きるしかない。どんなに能力があろうが、どんなに修行しようが、生死の苦しみの中で生きるのである。仏教では、それを凡夫とか便脳具足とかいう言葉で押さえている。



入会しました。

よろしくお願ひ致します。